

【3日目】面接官の心を掴む「話し方」と「話すこと」ワーク

面接官の心を掴む「話し方」をするには、面接官の質問の意図(その質問から受験者の何がしたいのか)を知ることが不可欠

● 面接質問で聞きたいことは「()」と「()」

・聞きたいこと①:「()」=能力がわかる

・聞きたいこと②:「()」=人柄がわかる

×:()ばかりで()を示せていない

×:()ばかりで()を伝えていない

○:()を話して人間性や目的意識が伝わり、()を示して実績や能力が分かる

● 「()」+「()的に」

「学生時代に、一番力を入れて取り組んだことは何ですか？」

→×:私は学生時代に多くのことに興味を持って取り組みました。大学時代に参加していたボランティアでは、学校の学習についていけない子供達に対して放課後に学習支援を行ったりもしました。そこで、「先生の説明はわかりやすい」と言われたことが私にとってとても大きなやりがいになっています。

→○:講座の実演を聞いて確かめよう！

【ワーク1】これまで学んだことを踏まえ、面接回答を考えてみよう！

「これまで一番困難だったことは何ですか？」

【ワーク2】何気ない質問に「()」を練習する

「会場の場所はすぐにわかりましたか？」

→×:「はい、わかりました」

○: 講座の実演を聞いて確かめよう！

「緊張していますか？」

→×:「はい、緊張しています。」

○: 講座の実演を聞いて確かめよう！

《練習問題》

面接官の下記の質問への回答を「()」を意識して考えてみましょう！

「昨日はよく眠れましたか？」

【ワーク3】面接官の立場に立って、次の回答に対してどう感じるか考えよう！

また、面接官がこの質問で見たいものは何なのか考えよう！

「ICTは得意な方ですか？」→「得意でも苦手でもありません」

どう感じた？

面接官が見たいものは何？

どう改善すると良い？ 講座の実演を聞いて確かめよう！

「子どもに寄り添うとは？」→「子どもを承認することです。」

どう感じた？

面接官が見たいものは何？

どう改善すると良い？講座の実演を聞いて確かめよう！

【ワーク4】面接官が面接の時に参照するあなたの提出書類(志願書、面接票など)から、予想される面接質問を考え、回答を考えましょう！

- 面接官の質問は主に受験者の「()」と「()」を見るため
そのために

↓

「～とは具体的には？」(具体化を求める質問で、何ができているかを見ている)

「なぜ～しようと思った？」(考えを聞くことで、物事の捉え方や教育観を見ている)

「その経験から学んだこと、得たことは？」(経験から何を学び得る人なのか能力と人柄) 「何をきっかけにそう考えた？」(受験者の背景を見て人柄を知りたい)

などツッコミ質問をしている

予想される面接質問	回答

《チェックリスト》

- ()から伝えている？
- ()を入れている？
- ()を伝えている？
- ()を伝えている？
- 実績を言う時には、()を分かりやすく伝えている？
- 経験から()を伝えている？

- 面接でアピールできる内容がない人
何でもいいから取り組んできたことを書く！
大事なものは、他人と比べることより、()
「こんなことは役に立たない」は思い込み

- その自治体を志望する理由がわからない
「その自治体の()」感情的
「その自治体の()」論理的
「その自治体で()」感情的・論理的
の要素を全て入れましょう！

最後は「この人、感じ良いな。良い先生になるな」と感じさせられるかが合否の決め手

- 職歴に「黒歴史」がある人
在家庭、何となく就職、体調不良で退職、など
 - 正直な「()」を伝えているか
 - 他者を()しない伝え方をしているか
 - 現在は()であることを感じさせているか
 - その経験があったから()と落とし込んでいるか
 - 最後は()を伝えているか

- ネガティブな質問に上手く返せない人
「本当にそれで信頼されるの？」
「大変な学校現場でやっていける自信はある？」
「それで本当に子供に力がつく？」
「それで本当に子供に伝わると思う？」

ネガティブな質問は、面接官の悪意や攻撃ではない
採用する上での「()」を払拭してほしい

- 応援メッセージ
なんども聞いてマインドを整えてください♪応援しています！